

【実施内容に対する委員コメント】

施設の設置目的及び管理運営方針

- ・すべてにおいて絶え間ない努力をしており、丁寧にきちんと施設運営を行っている印象を受ける。
- ・南海トラフ地震などの災害時の帰宅困難者等の受入拠点となるよう非常用寝具、非常用食品、ミネラルウォーター等の備蓄を開始したことは地域を意識した取り組みでもあり大変評価できる。

平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果

- ・車椅子、高齢者の方が利用しやすいように本館外部東側エントランスに車椅子用スロープを設置したことや多目的トイレの改修等、様々な利用者の立場と利便性を考慮していることが窺える。

利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果

- ・ホームページでの、会議室等の空き状況検索をリアルタイム化したことや、会議室扉の防音化改修工事など毎年様々な利用者増加のための努力がされており評価できる。今後の課題として利用者増加を図るために行ったPRや営業活動等の手法がどれだけ利用に結びついたか効果測定を実施する必要があるのではないかと。

サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果

- ・職員、受付業務担当者、警備、清掃、設備業務に従事しているスタッフを対象にした専門家による接遇研修や障がい者・高齢者対応研修が毎年実施されており、どのスタッフの対応も非常に素晴らしい。

施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性

- ・共同企業体「エル・プラン」独自で改修工事を多く実施しており、大いに評価できる。

管理に係る経費の縮減に関する方策

- ・エネルギーの自由化により供給会社の見直しを行い、光熱水費を節減したことは評価できる。

利用者満足度調査

- ・利用者満足度調査に加え、モニタリング調査も実施しよくやっている。特に利用者モニターの調査票は丁寧に作成されており、利用者の意見やニーズは迅速に施設管理に反映されているため大いに評価できる。

安定的な運営が可能となる人的能力

- ・計画通りの人員配置を行っており、充実した研修等も実施し、利用者サービスに努めている。

安定的な運営が可能となる財政的基盤

- ・経常収益が減少している年度でも費用削減などの努力により正味財産期末残高は26年度を除いて増加しており、財政的基盤は安定している。